

町長所信 (要旨)

『これまでの取り組みと今後』

福井町長

平成29年2月に出羽島が文化庁の重要伝統的建造物群の選定を受けた。牟岐町の長い歴史の中で、先代が築き残してきた物が、多くの方の理解と共感を得たことを嬉しく思う。今後とも、昔の町並みを取り戻せるよう整備を進め保存に努めると共に、観光振興に役立てたい。

5月の連休明けには、海部病院が高台に移転し診療を開始した。東日本大震災以降、南海・東南海地震がいつ発生してもおかしくないとと言われる中、小学校、保育所、給食センターに続き、災害弱者施設の病院を優先的に高台に移転したもので、今後、災害時の拠点病院として、大いに活躍が期待される。

平成29年2月に出羽島が文化庁の重要伝統的建造物群の選定を受けた。牟岐町の長い歴史の中で、先代が築き残してきた物が、多くの方の理解と共感を得たことを嬉しく思う。今後とも、昔の町並みを取り戻せるよう整備を進め保存に努めると共に、観光振興に役立てたい。

国においては、平成26年の『まち・ひと・しごと創生法』の制定以来、「これが地方再生の最後のチャンス」、あるいは「頑張らない市町村は応援できない」などと市町村を叱咤激励し、地方創生を進めているが、多くの市町村が、実感できないような成果が上がっていないのが現状だ。

地方創生は、交流人口を増やし、雇用を増やし、所得を増やすことを目的に実施しているが、多くの過疎地の基幹産業は農林漁業であり、地方を活性化するには、まずは一次産業の再生が重要であるが、これが本当に難しい。

町村は、これまでのようにいつまでも都会へ若者を送り続けることは困難となり、逆に戻ってきてもらわなければならない。そのためにも、魅力的で、皆さんから選ばれる市町村でないと生き残れない。

牟岐町役場庁舎

